

経営比較分析表（令和4年度決算）

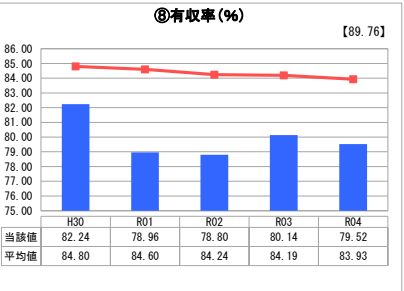
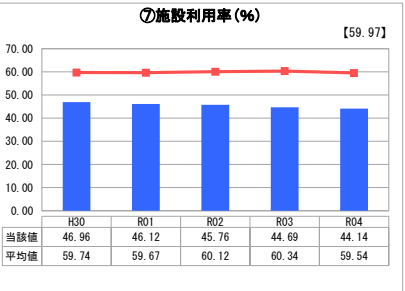
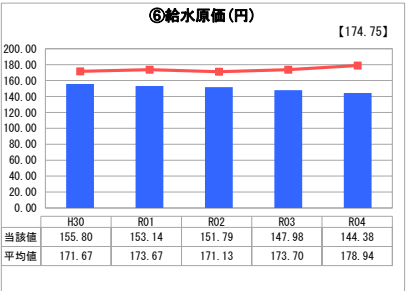
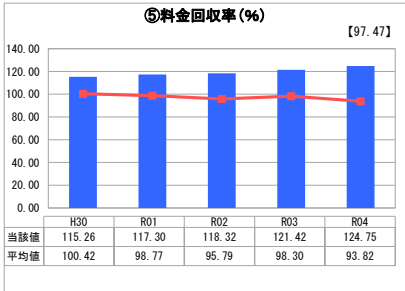
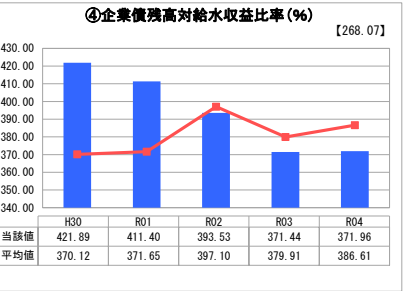
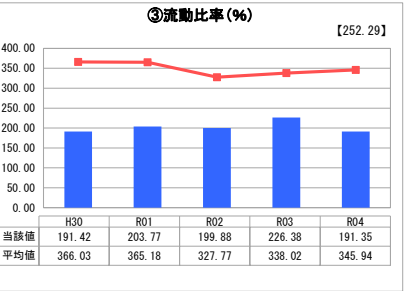
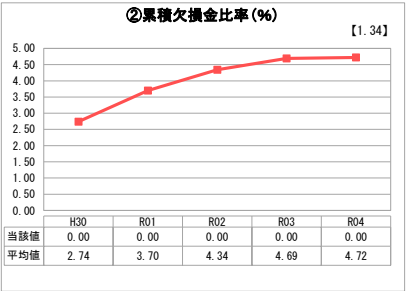
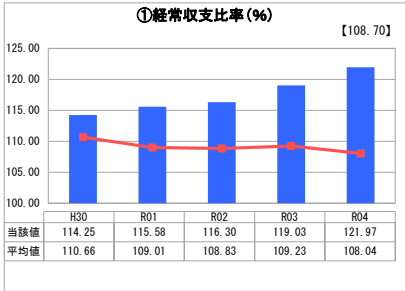
岐阜県 海津市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	70.08	97.05	3,630	

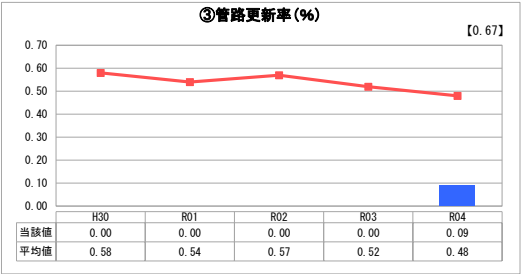
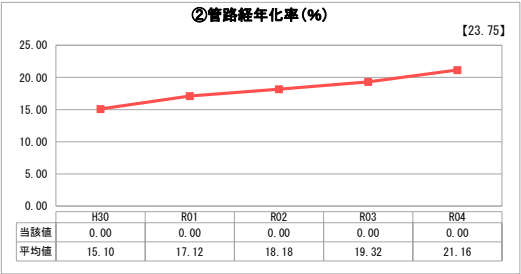
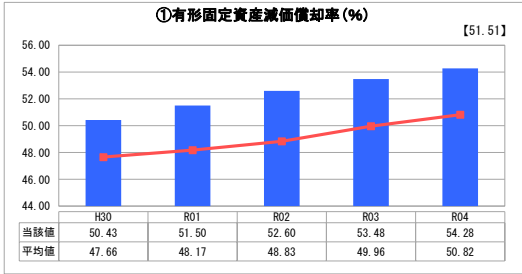
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,582	112.03	290.83
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
31,431	71.47	439.78

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率及び料金回収率は100%以上を維持し、費用を給水収益で賄っており経営は概ね健全な状況にあります。
給水原価、施設利用率、有収率は平均値より低い水準であり、給水人口の減少から使用水量が減少する事と、経年劣化による漏水が修繕費を増加させ数値を悪化させる要因となっている。
企業債残高対給水収益比率は平均より低い状態だが施設の改築・更新工事に伴う借入が予想されるので企業債の残高にも留意して改築・更新工事を実施する。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は上昇傾向であり、施設・管路の耐用年数が近づいている事から施設・管路ともに計画的な更新の実施が求められる。
老朽化した基幹管路や漏水の多い管を優先に耐震管へ布設替を行っている。
将来の更新を計画するにあたり、更新時期の平準化や施設の長寿命化に努め、計画的に進めていく必要がある。

全体総括

平成30年度に料金改定を行ったことにより、経営効率・財務の健全性は、現時点では概ね確保されているが、老朽化に伴う維持管理費の増加や施設・管路の更新に対応するため、更なる経費削減に努めていく必要がある。
持続可能な経営を図るため、人口、水需要の動向に注意しながら施設機能の見直しや更新の検討を行い、経営戦略に基づき、計画的かつ効率的な経営に努めていく必要がある。